

<内定先>

IT系 SIer コンサル

業種 SE

書類選考 筆記試験 面接3回 SPI

<就職活動の流れ>

2013年6月

- ・友人とMOSを取得する（履歴書の資格欄を埋めるのに便利だった）

2013年12月

- ・大手就活サイトに登録する。

12月8日に演奏会があったのでそれまでは全力で演奏会にのめりこむ。実質就活スタートは年明けから

2014年1月

- ・埼玉の合同説明会に参加。SEという業種について知識を深める。
- ・openESを埋めようと頑張るも使わなさそうなので放置する。

2014年2～3月

- ・個別説明会に行き始める。働くことと自分の性格について考える。
- ・大手企業を多く受ける。いわゆる大手病に悩む。

2014年4月

- ・当時第一志望の企業に最終試験まで行って落ちる。しばらく何もする気が起きず。
- ・同じく長く志望していた企業に書類で落ちる。無気力が加速する。大手病深刻期。

2014年5月

- ・就活を再開する。就活サイトの催促と煽りが面倒になるので関係ない企業もエントリーしておく。これは失敗。
- ・一社内々定をもらう。内々定後の飲み会や展示会などに参加する。

2014年6月

- ・もう一社内々定をもらう。先月もらった内々定の会社と比較し、こちらにすることにす。就活サイトを退会する。

<就活を振り返って>

・大目に目が行くのは構いませんが世界を狭めないように気をつけてください。一度悩み始めると引きずります。

・Evernoteなどのツールは活用しましょう。非常に便利です。特に自分のような田舎者には地下鉄の乗り換えや地図の保存などで必須でした。

・就活本は結局あまり読みませんでした。不勉強というのがありますが、他人の言葉を真似するのがなんとなく嫌だったからです。

・業種ごとに特殊なテストが出る場合があります。しっかり対策しておくために、志望度の低い会社でも早めに行ってみましょう。学べることが多いです。

<自己紹介について>

就活サイトを退会してしまったので記録があまりなく、企業名を出すわけにもいかず書けることが少ないので実際に使っていた自己PR部分を書いておきます。

これが正しいという保証はどこにもありません。むしろ間違っているところ、改善できるところを全力で探して自分の履歴書に活かして下さい。

・打ち込んだこと

(サークル編)

私がサークル活動で常に意識していたことはサークルメンバーのモチベーションの維持と、責任です。

マンドリンという楽器を演奏するサークルで学生指揮者を担当することになった私は、大学に入るまで楽器の演奏経験が全くありませんでした。大学入学前から楽器の演奏経験のあるメンバーが多い中、曲の演奏の責任者である指揮者を知識と技術で劣る私が担当して演奏が成り立つのか、そして皆が納得してくれるか不安でした。

それでも週に3回ある練習で指揮者として皆に指示できるよう、そして指示を受け入れてもらえるようメンバーの誰よりも練習し、勉強し、そしてできるだけ多くのメンバーと会話をするよう心がけて練習にやりがいを感じてもらえるよう努力しました。

その甲斐あって年に一度の定期演奏会にはメンバー全員が参加してくれ、そして演奏も迫力ある見事なものに仕上がりました。演奏後の反省会で先輩方に一年間の努力を認めていただいたことは大学生活一番の思い出です。

(解説)

これをもとに企業ごとにアレンジして使いました。「コミュニケーションの活性化」や「メンバーのモチベーションの維持」などをアピールしています。今の内定先に通れたのは採用担当者の方が元マンドリンクラブ在籍者の方で、運よく話が弾んだことが大きいと思います。

なお、就活シーズンになるとサークル長やら部長やらが増えるという話を人事担当者の方からお伺いしたことがあります。確かに就活していて打ち込んだことを聞かれると4割く

らしい割合でサークルリーダーや部長の人がいたような気がします。他の部長に負けられないように部で起こったエピソードを思い出しておきましょう。

また、よくある「当たった壁と改善策、その結果」という点については、

演奏会成功のために私が最も重要視したのは団員のモチベーションです。複数人で楽器を演奏する団体のため、その成功は団員全員の努力が不可欠です。団員が熱意をもって活動に打ち込めるよう、私は団員間のコミュニケーションを欠かさぬよう努力しました。特に学年やパートの壁を超えた意見共有ができるよう心がけ、反省会ではできるだけ多くの団員が話題を提供できるよう環境づくりをしました。その甲斐あって練習中はもちろん、練習以外の時間にも団員間での意見交換が活性化し、演奏会当日には所属する団員全員に参加してもらうことができました。

この経験を通じて一番印象に残ったのは、演奏会后に先輩から団内の活性化を評価していただいたことと、壁がなくなったことで発言の場がこれまでの区分よりも大きくなってしまったために言いたいことが言えなかった後輩がいたことでした。団内の壁を取り払うことに意識しすぎた結果、他の弊害を引き起こしてしまったことは、予想外の苦い経験でした。

としましたが、これを提出した企業には通らなかったのも少し主張が弱かったのと文章が支離滅裂かなという気がします。

(ジョイント・まちづくり編)

ジョイントとまちづくりについてはかなり聞かれると思います。ネタとしての食いつきはなかなかですのでしっかり練っておきましょう。

履歴書への記載は以下の通りです。

私の性格を端的に表すと、明るさと度胸だと思います。人前に出てプレゼンテーションやスピーチをするのが好きで、所属する研究室では他大学との合同ゼミでは40分のプレゼンテーションを一人で行ったこともあります。また、アルバイトでの接客業も自分の明るさを生むことのできた経験だと考えています。しかし一方で計画性に欠け、特にスケジュール管理が苦手です。定期的にスケジュール帳をみないと期限や締め切りなどを忘れがちなので、今後最優先で治していきたい欠点のひとつです。

私がゼミでの活動を通じて気がついた自分の強みは、明るさと度胸です。

私が所属する行政学研究室では毎年二つの発表会に参加することになっているのですが、そのうち一つの発表を他メンバーの都合で急遽私一人で行うことになりました。他大学の教授や学生を前に行う三十分の発表と二十分の質疑応答に対応できるよう、原稿と予想質問集を作成し、発表練習を行い、準備を万全に整えて本番に挑んだところ、自分の専門分

野を発表する自信と、それまで自分が行ってきた調査結果への信頼であまり緊張しませんでした。発表後の質疑応答にも自信をもって対応することができ、所定の五十分を大きなミスなくこなすことができました。また発表後他大学の教授から質疑応答の態度の良さと明るい姿勢を褒めていただくことができたのです。この経験から私は自分に人前に立って話ができる度胸と、そして相手とのコミュニケーションを円滑に行う明るさがあるのだと自信をもつことができるようになりました。これも発表のための論文作成や発表準備への努力の成果のひとつだと考えています。

(解説)

自己PRと合わせるとこういった感じでした。ここから御社ではこの明るさと度胸を活かして云々という話にもっていったと思います。

今年皆さんはジョイントの幹事も行ったので、人材力やスケジュール管理、現場の適応力など色々話せることがあると思いますので是非無理のない範囲で盛ってください。また、パソコンは得意ですか?という質問も度々出てきます。研究室のHP掲載作業やレジュメ作成・スライド作成などの話もスムーズにできるようにしておくといいです。

<面接の流れ>

大手企業の二次選考の反省があったので書いておきます。伏字を多用しますので不明瞭な点は私に聞いてください。

2014年3月X日X曜日

XX(地名)ビル8階

1対1での面接、およそ40分程度

出身地からの移動時間について、他雑談

大学生活で力をいれたことについて聞かれる

明るさと度胸を自覚し、伸ばしていった。ゼミの発表やサークル活動等について答弁
ゼミでは発表の機会に多く参加し、サークル活動では指揮者頑張った

↳サークル活動がらみで、失敗したことについて

↳モチベーション維持に注力、また、褒めてあげることの難しさについて答えた

↳バイトでのリーダーシップを発揮した場面はあるか

↳特になし、与えられたことをこなすような風潮があったので率先して何かをしたことはないと答えた。また、パート・アルバイト間の軋轢について説明。実践はこちらもしていないと答弁

└他の希望している企業はなにかあるか

行きたいと思っているところにしかエントリーしたくないのであまりしていないと答えた。

企業名としてはXX（他企業名）、XX（他企業名）を挙げた。メモられたので今後の選考で使うのかも

└XX（会社名）の職種について

XX（職種）・XX系（職種）・XX（職種）のうちXX（職種）以外の二種をやりたいと答えた。営業も向いているのでは？と助言をもらう。

☆ロールプレイ

三分で読み込み・考察、二分で実演という形でのロールプレイ

設定は自分が担当している企業へのアフターフォローがなっておらず解約したいと言い出し、なんとか続けるべく部長と謝罪しに行くが、その部長にどのように説明し、依頼するか。

設定文のなかにあった「部長になにを期待するか考える」に忠実に

①依頼内容を簡潔に冒頭で述べる

②改善案を挙げる

の二種を念頭にロールプレイを行った。

反応は好印象。②の改善案として納期を伸ばすを提案したが、サブとして人員を入れるのがいいという話ももらったので参考に。

└配属地について

第一志望は首都圏だが、若いうちはどこでもいいので飛ばしてもらいたいと答弁。どのように表記されたかはよくみえなかった。

└最終確認としてXX（業種）・XX（業種）のどちらにするか

営業もいいと思い始めたところどちらにチェックを入れるか迷っているようだったので、第一志望はXXだと答えておいた。

└さいごになにか質問は

面接で厳しいこともいうと聞いていたが何も言われなかったのでなにか厳しいことはなにかきいた。（納期やノルマ、人的トラブルについて） 並一通りの答えが帰ってきたが、意欲を示せたのではないか。

総評

手応えあり。志望動機を聞かれなかったのが意外だったが、同会場で五次面接までやっていたので今後聞かれるだろう。もうすこし練っておくことにする。

お礼メール

XX 会社 新卒採用担当者様

宇都宮大学の XX と申します。

本日はお忙しい中選考の機会をいただき、誠にありがとうございました。電車の遅延などのトラブルにも柔軟に対応していただきましたおかげで、無事にありのままの自分をお伝えすることが出来たと思っております。

面接担当の方からは職種や業務内容などを始め、業務上の少し厳しい面についての詳しい説明もお伺いすることができ、文系の私に馴染みのなかった XX（業種）という仕事の内情をより理解できたように思います。

また私が XX（業種）にも向いているのではないかというご助言をくださったことにも感謝申し上げます。これを機に、XX 職についても勉強してみたいと思います。

是非ともいいご連絡が頂けますよう祈っております。

末筆ながら、面接のお礼を申し上げますとともに、貴社のご発展と社員皆様のご多幸をお祈りいたします。

宇都宮大学国際学部国際社会学科

XX

メールアドレス XXXXXXXX

自宅住所 〒XXX-XXXX XX 県 XXX

携帯電話番号 XXX-XXXX-XXXX

この面接については口頭で説明します。

最後に、就活シーズンは悩みが絶えない時期だとは思いますが、その悩みは今悩んでおかないと後で後悔するタイプの悩みです。後回しにしないようにとことん悩みましょう。そして結論がでたら誰かに相談しましょう。駅東のハローワークは厳しく意見を言うのでお勧めです。みんなにとってよい就活になるよう、そして各々が望む結果を得られますよう、陰ながら祈っています。頑張ってください。